

# 大人のチカラ

11

～子どもたちの未来のために～

## 子どもの感性を育てる③

### 「公共の場」で学ぶ

**地** 域社会など本来、社会性が育成されるべき場所が少なくなっていることが指いころ、公共の場でさまざまな体験をすることです。社会体験の重要性について考えてみましょう。

#### 少なくなった ルールを学ぶ機会

公園で遊びのルールが守れずトラブルが起こったり、道路に平気でゴミを捨てるなどモラルの欠如が問

題視されています。香川県公立幼稚園長会長の山崎真理子さんは「普段、子どもたちの生活範囲は家庭や園、学校だけに限られがち。公共の場で家族以外の人と触れ、社会のルールやマナー

を学ぶ機会が少なくなっているのが一つの要因ではないかと指摘します。

#### 掃除教育通じ 心の成長を育む

高松市内のすべての公立幼稚園では毎月、園児と地域の高齢者が一緒になって園の掃除を行う「ピカピカデー」を昨年末から実施。子どもたちは地域の方々から雑巾の絞り方やほうきを使い方などを教わっています。掃除は単なる美化活動というだけでなく、みんなの役に立とうとする公共心や協調性などの育成に役立つというようです。「地域の方々から教えてもらうことがたくさんある一方、子

どもたちも地域の方に『腰は大丈夫?』と優しい気遣いをするようになりました」と山崎さん。豊かな心、生きる力の基礎を育む取り組みを奨励しています。

#### 夏休み利用し いろいろな社会体験を

車社会の発達で、バスや電車など公共の交通機関を使ったことがないという子どもも増えていきます。いつでも、気兼ねなく利用できる自家用車は大変便利です。ただ、公共の交通機関を使うことは、乗り方や乗り物の仕組みを知

ることはもちろん、公共のルールを学ぶことができません。夏休みを利用してぜひ、バスや電車に乗る体験をしてほしい」と山崎さん。また、親子で一緒に歩いて、横断歩道の渡り方や信号の待ち方など基本的な交通ルールも日常生活の中で学んでいくことを提案しています。

